

まちづくり交付金 事後評価シート
松代地区

平成22年3月

長野県長野市

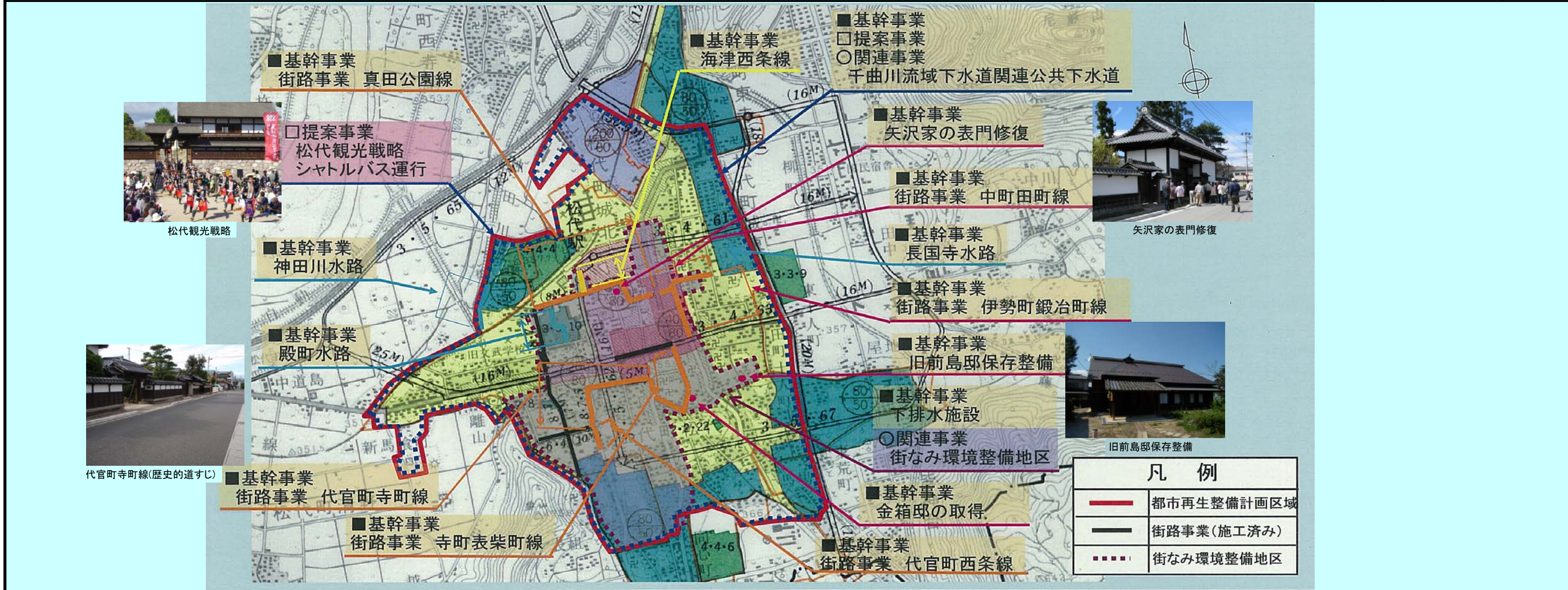
様式2-1 評価結果のまとめ

都道府県名	長野県		市町村名	長野市		地区名	松代地区			面積	148ha						
交付期間	平成17年度～21年度		事後評価実施時期	平成21年度		交付対象事業費	1,909.4百万円	国費率	0.318								
1)事業の実施状況	当初計画に位置づけ、実施した事業		基幹事業	道路(真田公園線、代官町寺町線)、下水道(千曲川流域下水道関連公共下水道)、高質空間形成施設(殿町水路、海津西条線)													
			提案事業	まちづくり活動推進事業(松代観光戦略)													
	当初計画から削除した事業		基幹事業	高質空間形成施設(代官町水路)	事業名		削除/追加の理由		削除/追加による目標、指標、数値目標への影響								
			提案事業	地域創造支援事業(松代藩鐘楼保存整備、旧前島邸保存整備、寺町歴史的建造物群保存整備)	高質空間形成施設(代官町水路)		地元意向の変化		影響なし								
	新たに追加した事業		基幹事業	道路(寺町表柴町線、中町田町線、伊勢町鍛冶町線、代官町西条線)、高質空間形成施設(神田川水路、長国寺水路)、街なみ環境整備事業(下排水施設、旧前島邸保存整備、矢沢家の表門修復、金箱邸の取得)	道路(寺町表柴町線、中町田町線、伊勢町鍛冶町線、代官町西条線)、高質空間形成施設(神田川水路、長国寺水路)、街なみ環境整備事業(下排水施設、旧前島邸保存整備、矢沢家の表門修復、金箱邸の取得)		道路:史跡等を結ぶ歩行者空間の創出 高質空間形成施設:親水性水路の整備による観光客の誘致 街なみ環境整備事業:事業項目の適正化(提案事業から移行)		一部の指標に関係するが、数値目標は据え置き								
			提案事業	地域創造支援事業(千曲川流域下水道関連公共下水道)、まちづくり活動推進事業(シャトルバス運行)	地域創造支援事業(千曲川流域下水道関連公共下水道)、まちづくり活動推進事業(シャトルバス運行)		地域創造支援事業:事業項目の適正化(基幹事業から移行) まちづくり活動推進事業:松代観光戦略事業の支援		一部の指標に関係するが、数値目標は据え置き								
交付期間の変更		当初	平成17年度～21年度		交付期間の変更による事業、指標、数値目標への影響												
		変更															
2)都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の達成状況	指標		単位	従前値	目標値		数値		目標達成度	1年以内の達成見込み	効果発現要因(総合所見)	フォローアップ予定時期					
	指標1	来街観光客数	人/年	301,000	基準年度	H15	346,000	目標年度	H21	612,100	モニタリング	評価値	549,800	○	ありなし	観光拠点等の整備と松代観光戦略の相乗効果により、地域の知名度が向上した。	平成22年4月頃
	指標2	道すじの歩行者数	人/日	2,361	H15	2,000	H21	2,240	1,742	△	ありなし	観光客用駐車場の整備により、車での来街者が増加し、事業効果を打ち消した。					
	指標3	泉水路の水質向上	mg/l	9.3	H17	4.0	H21	4.6	2.1	○	ありなし	下水道整備により雑排水の流入が抑制され、住民の環境保全意識が向上した。					
3)その他の数値指標(当初設定した数値目標以外の指標)による効果発現状況	指標		単位	従前値	目標値		数値		目標達成度※1	1年以内の達成見込み	効果発現要因(総合所見)	フォローアップ予定時期					
	その他の数値指標1				基準年度												
	その他の数値指標2																
	その他の数値指標3																
4)定性的な効果発現状況	<ul style="list-style-type: none"> 本計画の実施を通して、まちづくりに対する意識が高揚し、住民と行政の協働によるまちづくり活動が積極的に行われるようになった。 歴史を街並みを活かしたまちづくりの事例として、知名度が著しく向上したため、住民や行政職員が地域に誇りを持つようになった。 観光案内やまちづくりに関するボランティア活動を通して、住民と観光客の接点が生まれた結果、住民自身が改めてまちに関心を持つようになった。 「エコール・ド・まつしろ倶楽部」の活動や「松代城春まつり・秋まつり」の実施等地域主体の取り組みによって、「遊学城下町 信州松代」の観光ブランドを創出することができた。 住民自治協議会やまちづくり関連のNPO法人等が主催する各種のイベントが一年を通して実施され、季節折々のまちの魅力を発信できるようになった。 																
5)実施過程の評価			実施内容				実施状況				今後の対応方針等						
	モニタリング		所定のモニタリングシートによるモニタリング				都市再生整備計画に記載し、実施できた				計画期間終了後においても、モニタリングの手法を用いて定期的に継続事業の進捗状況を確認する。						
							都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した										
							都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった										
住民参加プロセス		なし				都市再生整備計画に記載し、実施できた											
						都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した											
						都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった											
持続的なまちづくり体制の構築		なし				都市再生整備計画に記載し、実施できた											
						都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した											
						都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった											

様式2-2 地区の概要

松代地区(長野県長野市) まちづくり交付金の成果概要

まちづくりの目標	目標を定量化する指標		従前値		目標値		評価値	
	指標	単位	値	年次	値	年次	値	年次
水と緑と歴史的街なみを活かしたまちづくりを進め、歴史的魅力を高め観光による賑わいを創出するとともに住環境の向上を図る。	来街観光客数	単位:人/年	301,000	H15	346,000	H21	549,800	H21
	道すじの歩行者数	単位:人/日	2,361	H15	2,000	H21	1,742	H21
	泉水路の水質向上	単位:mg/l	9.3	H17	4.0	H21	2.1	H21



まちの課題の変化	<ul style="list-style-type: none"> 武家屋敷等の保存整備は、計画どおりに進捗し、街なかにおける観光拠点として活用されている。 歴史的道すじの整備は概ね完了し、歩行空間の快適性、安全性が大きく向上した。 計画区域内の下水道整備が完了し、泉水路の水質が向上した。
今後のまちづくりの方策(改善策を含む)	<ul style="list-style-type: none"> 歴史的道すじの整備を促進するとともに、中心市街地への通過交通の流入を抑制し、歩行者の安全性を確保する。 泉水路を歴史的観光資源として保存するとともに、地域住民等による水路保全活動等を支援する。 歴史的資産について、現況を調査し、登録文化財としての保存を促すとともに、観光資源としての利活用を図る。 住民主体のまちづくり活動を支援するとともに情報の発信力を強化する。 歩行者動線の変化を踏まえ、引き続き観光拠点施設や歴史的道すじの整備を推進する。 下水道接続を促進するためのPR活動を行う。 区域外(周辺地区)での下水道整備を推進する。